



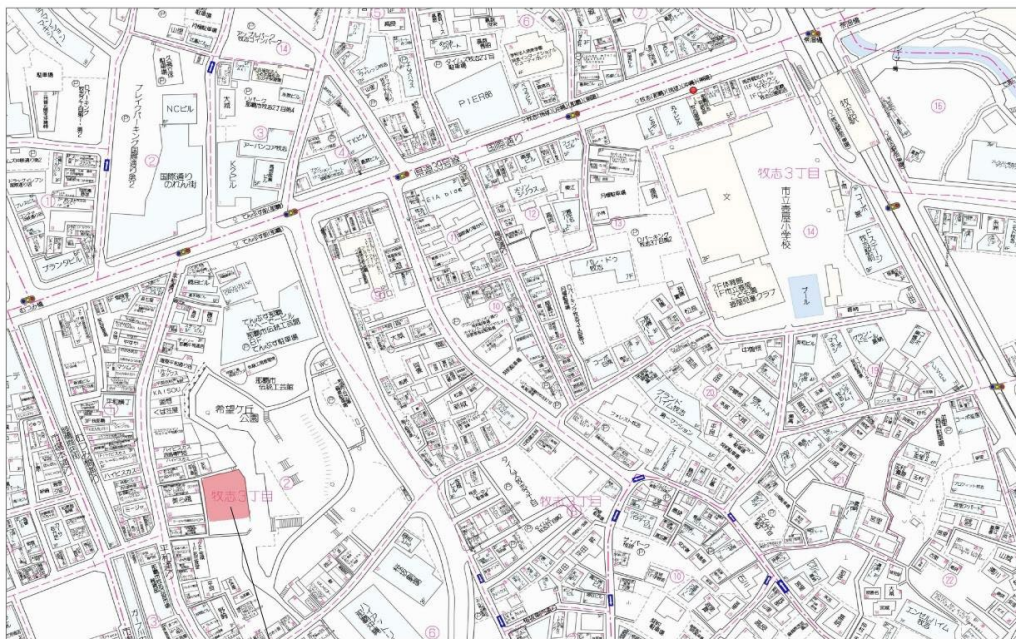
「酔夢芝居舞(すいむしばいまい) クラクラ ～牧志下町・屋台村～」
コンダクト株式会社 + 沖縄県立芸術大学 + 琉球大学

概要：

国際通りの牧志周辺には、1950年代から1960年代にかけて映画館・劇場が18館もありました。「国際通り」「平和通り」「沖映通り」の名前も劇場名が由来。娯楽の形は変われど、現在も牧志には多様な魅力があります。

来月4月25日新たに、平和通りと希望ヶ丘公園に面した「飲食街」が誕生します。かつての歴史文化に想いを馳せ、沖縄県立芸術大学の学生が主になって、壁画・レリーフ・シーサー・ロゴサイン・案内板など各種のアート・デザインで商業空間を彩ります。また、琉球大学のゼロエネルギーハウス(ZEH)実証実験棟で得られた研究ノウハウを使って、カーボンニュートラルに配慮した建材・工法を用いて建築を行います。

場所：



計画地 那覇市牧志3丁目833番17

それぞれの役割：

琉球大学：沖縄の気候風土と環境に配慮した建築に対する助言・指導・ノウハウの提供。琉球大学のゼロエネルギーハウス(ZEH)実証実験棟で得られた研究成果を活かしノウハウの提供を行った。

沖縄県立芸術大学：絵画・彫刻・工芸・デザイン・芸術学の美術学部の専攻が協力して、内外装の装飾に関わり、オープニングには音楽学部の学生による演奏を予定。

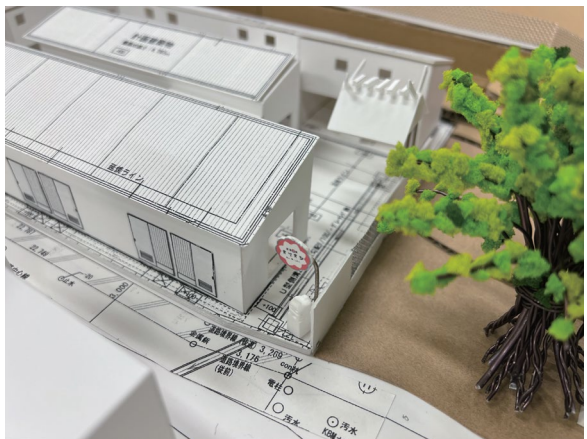
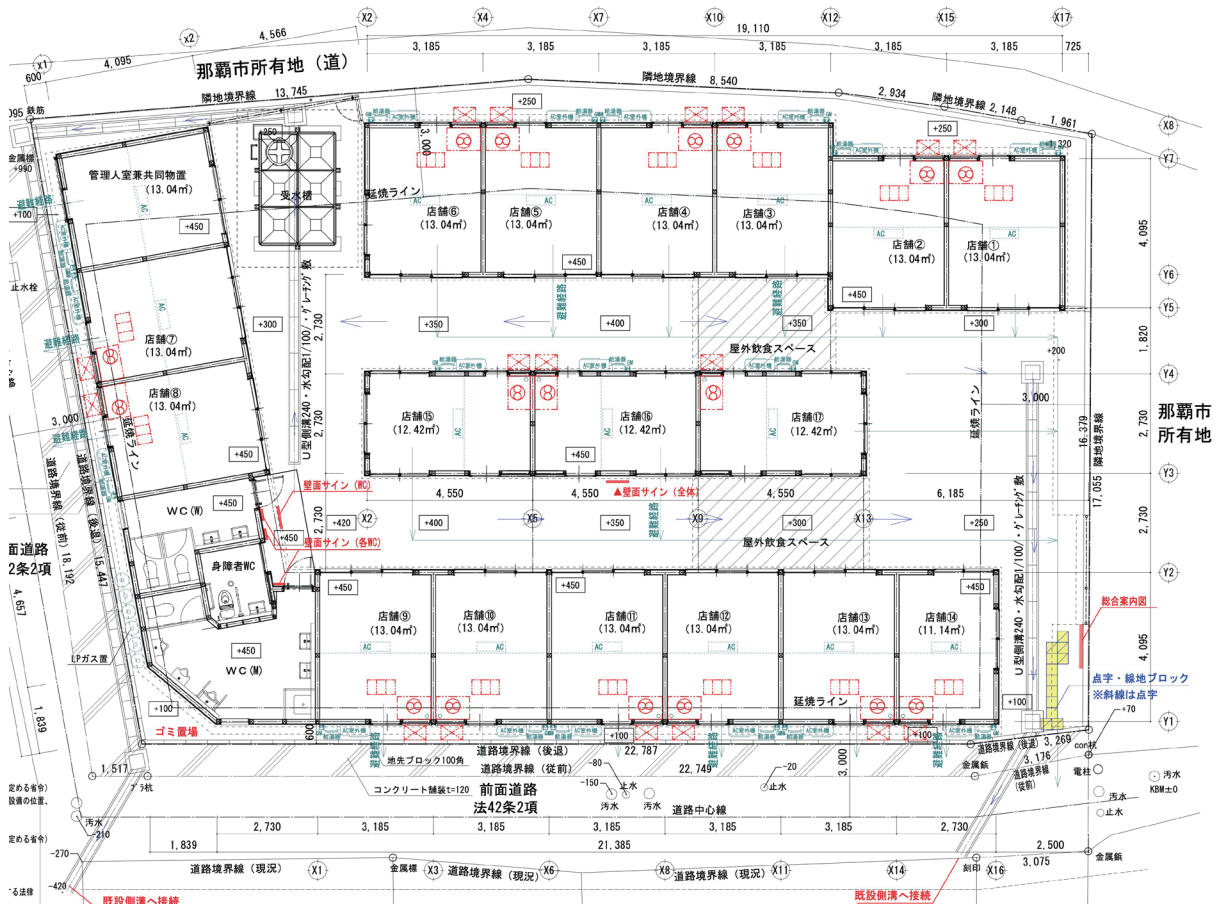
コンダクト株式会社(和田克之代表取締役)：屋台村建築プロジェクトの企画・運営・建築主。福岡県など九州各地で不動産開発を手がけ、地域のもつ問題や課題を、その地域の学術機関と連携して解決し、そこに住んでいる方々と共に発展していくという企業理念を持っている。

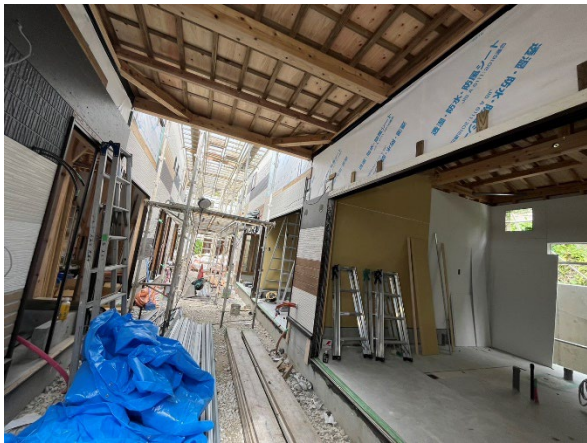
建築予定地である牧志希望ヶ丘公園裏は、国際通り近くの好立地ながら歴史的な背景もありこれまで開発が進まない課題のある地域だが、琉球大と県立芸大と連携して屋台村を建築し、それが地域コミュニティに不可欠な資産となり、多くの人々の笑顔と利益をもたらすことを目指している。

今回の屋台村建築に関しては、沖縄県立芸術大学の学生が主となり、壁面、レリーフ、シーサー、ロゴデザイン、案内板などアートデザインを担当。また、琉球大学の研究成果を活かし、カーボンニュートラルに配慮した建材や広報を用いて建築するなど、産学連携で取り組むことが特徴。

参考：牧志屋台村は17の飲食店が入居し、イベントステージを併設した飲食街となる。総事業費は約3億5千万円。敷地面積は496平方メートル、木造平屋で、建築面積は281平方メートル。牧志屋台村は公衆トイレを備え、営業時間は深夜0時までにする予定。

参考資料：





上棟式(2024年1月31日)：



令和六年一月吉日
内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)
参議院議員・医師

自見はな、
謹白

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、牧志屋台村プロジェクトが上棟式を迎えられますこと、誠におめでとうございます。沖縄コンタクト株式会社和田克之代表取締役をはじめ、本プロジェクトの実施にご尽力されているすべての皆様に深く敬意を表します。
産学連携のもと、首里城の瓦や各種廃材の再生利用、芸術学生によるデザイン提案など地域の強みを生かし、SDGsにもかなう本プロジェクトの成功により、地域コミュニティの一層の活性化はもとより、観光地としての魅力もさらに強まることと大きく期待しております。
「牧志屋台村」の上棟を祝し、地域の繁栄と発展を心より祈念申し上げてお祝いの言葉といたします。